繰　越　を　必　要　と　す　る　理　由　書

契約番号：　16010010100　研究機関名：　国立大学法人〇〇大学　研究担当者名：　〇〇　〇〇

当事業年度契約額：	13,000,000 円	（内訳：直接経費	10,000,000 円	・間接経費	3,000,000 円）
繰越承認要求額：	1,000,000 円	（内訳：直接経費	1,000,000 円	・間接経費	300,000 円）

研究タイプ：　CREST　研究領域：　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

研究題目：　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇　研究期間　28 年度　～　29 年度

当初計画及び変更後の計画			
＜当初計画＞		＜変更後の計画＞	
H28.4	事前準備	H28.4	事前準備
H28.5	↓	H28.5	↓
H28.6	↓	H28.6	↓
H28.7	予備実験（条件設定）	H28.7	予備実験（条件設定）
H28.8	↓	H28.8	↓
H28.9	↓	H28.9	条件検討
H28.10	△△法確立のための本実験	H28.10	↓
H28.11	↓	H28.11	予備実験（条件設定）
H28.12	↓	H28.12	↓
H29.1	実験結果の解析	H29.1	↓
H29.2	↓	H29.2	△△法確立のための本実験
H29.3	研究成果とりまとめ	H29.3	↓
		H29.4	↓
		H29.5	実験結果の解析
		H29.6	↓
		H29.7	研究成果とりまとめ
		H29.8	
		H29.9	
		H29.10	
		H29.11	
		H29.12	
		H30.1	
		H30.2	
		H30.3	
繰越事由の発生した時期		当該計画の完了時期	
平成28年9月		平成29年7月末（4ヶ月延長）	

当初の研究計画

（研究概要）

※＜当初計画＞に即して、最終的に平成29年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述してください。

プルダウンから選択してください

平成28年12月までに、

△△法確立のための本実験を実施し、

平成29年3月までに、

その結果の解析を行い、研究成果をとりまとめる

予定であった。

事　由

記号等　⑦ア　研究に際しての事前調査の困難

プルダウンから選択してください

【経理様式６ 別紙】
繰越事由（記号等）一覧の例文
を参考にして記述してください。

（補足説明）

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

※　事由欄の「記号等」は、別紙「繰越事由（記号等）一覧」を参照の上、選択してください。